

青山学院大学

経済，経営および国際政治経済学部

経済学部

この学部では「統計学概論」が必修で「数理統計学」，「計量経済学」，「経済統計論」，「電算機と情報処理」が選択科目として講義されている。

「オペレーションズ・リサーチ」は科目としておかれていないが，その中の重要テーマである「予測理論」については鈴木栄一教授の研究室演習テーマとされ，「社会現象・環境現象の予測」として稀現象や新製品需要の予測に必要な新手法の開発，シミュレーション実験が多様に試みられている。

経営学部

当学部における数量分析関係の科目としては，

科 目	年 次	
統 計 学	2	選 択 必 修
経 営 数 学	3, 4	選 択
オペレーションズ ・リサーチ	3, 4	選 択 必 修

が開講されている。これらのうち，統計学においては，OR，生産管理，財務管理，マーケティングなどの実務的で統計学の知識を必要とする分野に関心のある学生を対象に，統計学の基礎的知識を与えることを目的としている。次に，経営数学では，社会現象に数学的にアプローチするのに必要な基礎数学として，多変数関数の極大極小，微分方程式，行列と行列式などが講義されている。最後に，オペレーションズ・リサーチにおいては，広く浅く講義することをさけて，前期では線型計画法，後期では時系列分析にしばって深くていねいに講義する方法をとっている。その理由は，この2つのものはむずかしい数学の知識を必要としないので理解しやすいこと，実務においてよく使われる分野だからである。しかしこの2つのみでは時間が余るので，余った時間でシミュレーション，在庫管理などにふれることにしている。この方

法は学生には好評で，「ORとはどういうものがよくわかった」というコメントを頂戴している。

国際政治経済学部

この学部は，国際化が進行する今日の社会において，国際政治，経済，経営に関わる諸事象に，国際的にとりくめる人間の育成をめざして，昭和57年4月に新設された。教育カリキュラムの重点は，1，2年次における徹底的な英語の集中教育と幅広い専門分野の教育に置かれている。学部には，国際政治学科，国際経済学科，国際経営学科の3学科があり，専門科目のいくつかは，英語による講義が行なわれている。複雑化，多様化の様相を呈している今日の諸問題に対処するにあたり，広い視野に立って，科学的に，学際的にとりくむ必要を強調しているこの学部のねらいは，オペレーションズ・リサーチの精神に通じていると言えよう。OR的教育を中心とする科目には，高森寛教授の「システム科学」やゼミナールなどがあり，授業は英語で行なわれ，LPの基本を教え，整数計画なども使ったモデル・ビルディングの訓練に重点が置かれている。クラスでは，オレゴン大学などからの交換留学生も，一緒に勉強している。

学部の上に，大学院「5年一貫制博士課程」があり，国際政治学専攻，国際経済学専攻，国際経営学専攻の3専攻とも，宮下藤太郎教授の「数量分析」，川勝昭平教授の「統計分析」，高森教授の「システム科学」などが選択必修となっている。高森研究室では，最適化理論と予測理論の経済学，経営分野への応用を研究の中心テーマとしている。

以上，3学部の同時紹介を行なったのは経済学部・鈴木栄一，経済学部・小林三郎，国際政治経済学部・高森寛の3教授が多少のニュアンスのちがいはあっても大体同一の演習，研究テーマをもって学生指導をしてきたからである。

(経済学部 鈴木栄一，経済学部 小林三郎，国際政治経済学部 高森 寛)